

放射性廃棄物処理系排水配管の誤接続の有無に関する調査結果について (原子力安全・保安院への報告)

2010年4月26日

東京電力株式会社の原子力発電所において確認された放射性液体廃棄物処理系の排水配管が、非放射性液体廃棄物処理系へ廃液を収集する排水升に誤接続されていたことを踏まえて、2010年2月2日に原子力安全・保安院から指示文書「放射性廃棄物処理系排水配管の誤接続に係る対応について(指示)」(22原企課第6号)が発出されました。

当社は、この指示に基づき、浜岡原子力発電所についての調査結果をとりまとめ、本日、原子力安全・保安院へ報告しました。

原子力安全・保安院指示の概要

原子炉設置者に対して、以下の対応を求める。

1. 放射線管理区域内において非放射性液体廃棄物の排水管と放射性液体廃棄物の排水管との誤接続がないか調査し、報告すること。
2. 調査は各事業者のトリチウムの管理及び設備の管理の実態を踏まえた方法により行うものとする。

調査対象

浜岡原子力発電所では、放射線管理区域内で発生した放射性液体廃棄物は、放射性液体廃棄物処理系にて処理をして放射能の低減を図り、放射能濃度の測定を行い環境への影響がないことを確認したうえで環境へ放出しています。

今回の調査では、放射性液体廃棄物が排水配管の誤接続により、放射線管理区域内の非放射性液体廃棄物の排水升へ流入した場合に、放射性液体廃棄物が管理されない状態で環境へ放出される可能性が否定できないことから、放射線管理区域内に存在する非放射性液体廃棄物の排水升として、海水スチームドレン系^{※1}の排水升を対象としました。

調査結果

浜岡原子力発電所1～5号機の海水スチームドレン系の排水升302箇所と接続されている配管は全て非放射性液体廃棄物の配管であり、当該の排水升に放射性液体廃棄物の配管が誤接続されていないことを確認しました。

※1 海水スチームドレン系は、非放射性である海水を内包する機器からの排水等を処理する系統です。

以上